

国立病院機構新潟病院
特定行為研修

受講者募集要項

2026年度 募集用

独立行政法人国立病院機構新潟病院
特定行為研修センター

特定行為研修の概要

国立病院機構は、「私たち国立病院機構は、国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上のため、たゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに患者さんの目線に立って懇切丁寧に医療を提供し、質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます。」の理念のもと、急性期医療からセーフティネット分野の医療を担い、地域医療に貢献してきました。

医療を取り巻く環境が変化しても、患者や地域住民が必要とする医療を安定的かつ継続的に提供していく上では、医療提供体制の充実・強化が必要不可欠です。また、医療の質を向上させ、維持するために、未来を担う医療人の育成は国立病院機構の責務と考えます。これらの使命を果たすべく、国立病院機構は看護師特定行為研修を推進することとしました。

<研修理念>

国立病院機構新潟病院 看護師特定行為研修（以下「本研修」という。）は、チーム医療の要である看護師が、医療機関や在宅において患者や利用者の状態・状況を自律的に判断し、特定行為の実施も含めた適切な医療を提供することにより、これからの時代に望まれる医療に向けて役割を果たせることを目指します。なかでも、特定行為の実施にあたっては、研修後も自己研鑽を重ね、より安全で質の高い看護の提供を探求する姿勢を養うことを重視します。また、本研修は地域医療構想の実現、地域包括ケアシステムの構築に貢献できる看護師の育成を、地域の医療機関とともに連携・協働して行っていくものとし、地域における医療人の育成に貢献していきます。

<研修目的>

医師の包括的な指示のもと、診療の補助（特定行為）が安全かつ医療倫理に基づき実施できる基礎的能力を養う。

<研修目標>

1. 多様な臨床場面において、対象の病態とその変化を迅速かつ包括的にアセスメントできる。
2. 多様な臨床場面において、必要な治療を理解した上で、対象の状態に応じた対処を導くことができる。
3. 多様な臨床場面において、患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実践できる。
4. 対象の問題解決に向けて、多職種の専門性を尊重し、効果的に協働することができる。
5. 自らの看護実践を検証し、判断力・技術力の向上及び標準化するための能力を身につける。

<特定行為区分、領域別パッケージ、定員>

特定行為区分 領域別パッケージ	定員
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連＋在宅・慢性期領域パッケージ	5名
在宅・慢性期領域パッケージ	

<研修期間>

令和8年10月1日（木）～令和9年9月30日（木）

<研修内容>

1. 共通科目

科目名	時間数
臨床病態生理学	3 1 時間
臨床推論	4 5 時間
フィジカルアセスメント	4 5 時間
臨床薬理学	4 5 時間
疾病論・臨床病態論	4 1 時間
医療安全学/特定行為実践	4 5 時間
小 計	2 5 2 時間

* 講義・演習・実習（スキルアップラボ室内）で構成されます。時間数には試験時間を含みます。

* 講義は学研 看護師の特定行為研修 eラーニングを用い、各自で受講します。

* 演習および実習（スキルアップラボ室内）は集合研修にて行います。実習は観察評価を行います。

* 共通科目の全科目に合格することで、区分別科目を受講することができます。

* 共通科目を既に修得している場合、履修免除ができます。詳細は、<履修免除>を参照してください。

2. 区分別科目

科目名	特定行為名	時間数
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの） 関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	2 9 時間
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	
	人工呼吸器からの離脱	

* 講義・演習・実習（スキルアップラボ室内・臨地）で構成されます。時間数には試験時間を含みます。

* 講義は、学研 看護師の特定行為研修 eラーニングを用い、各自で受講します。

* 演習および実習（スキルアップラボ室内・臨地）は集合研修にて行います。実習は観察評価を行います。

* 臨地実習として、患者に対する実技を特定行為ごとに 5 症例以上経験します。


3. 領域別パッケージ


在宅・慢性期領域パッケージ

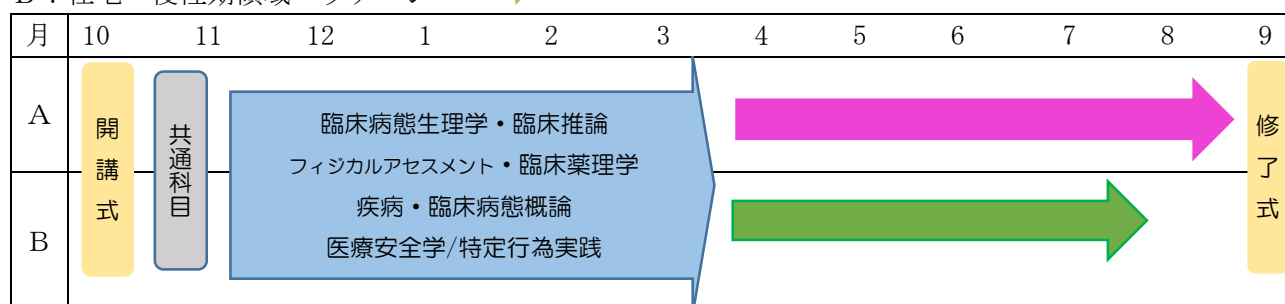
科目名	特定行為名	時間数	その他
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換	8 時間	OSCE
ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	1 6 時間	OSCE
創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	2 6 時間	OSCE
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	1 1 時間	
小 計		6 1 時間	

- * 講義・演習・実習（スキルアップラボ室内・臨地）で構成されます。時間数には試験時間を含みません。
- * 講義は、学研 看護師の特定行為研修 eラーニングを用い、各自で受講します。
- * 演習および実習（スキルアップラボ室内・臨地）は集合研修にて行います。実習は観察評価を行います。
- * 一部の特定行為は臨地実習の前に実技試験（OSCE）を行います。実技試験に合格しないと臨地実習に進むことができません。
- * 臨地実習として、患者に対する実技を特定行為ごとに5症例以上経験します。

<履修モデル>

A：呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連＋在宅・慢性期領域パッケージ 

B：在宅・慢性期領域パッケージ 



- * e-ラーニング授業の期間中に、演習等のための登校日を週1回程度予定しています。
- * 臨地実習は、選択した科目によって開始時期と修了時期が異なります。
- * 共通科目・区分別科目の演習・実習（学内・臨地）及び筆記試験・実技試験は、いずれも独立行政法人国立病院機構新潟病院で行います。

<研修日程>

令和8年	10月	上旬	開講式
	10月	上旬	共通科目 eラーニング受講開始
令和9年	3月	上旬	共通科目修了判定
	3月	下旬	区分別科目 eラーニング受講開始
	9月	中旬	区分別科目修了判定
	9月	下旬	修了式

<研修修了要件>

共通科目における評価（筆記試験・各種実習の観察評価）に加え、区分別科目における評価（筆記試験・実技試験・各種実習の観察評価）に合格し、特定行為研修管理委員会における修了判定をもって研修を修了とします。

- * 特定行為研修修了後、修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

<研修経費>

1. 受講料

所 属		受講料
独立行政法人国立病院機構の病院に所属する者		450,000 円
独立行政法人国立病院機構 以外の施設に所属する者	在宅・慢性期領域パッケージのみ	600,000 円
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ＋在宅・慢性期領域パッケージ	680,000 円

2. 研修中に必要な経費

受講料以外に、学習に必要なテキスト等の書籍費が必要になります。また本研修の受講決定後は、開講式までに看護師賠償責任保険に加入してください。

<研修場所・実習施設>

放送授業による講義：学研 特定行為研修 e ラーニングを用い、各自で受講（平日なら新潟病院研修室も使用可能）

集合研修：独立行政法人国立病院機構新潟病院研修室およびスキルアップラボ室

臨地実習：独立行政法人国立病院機構新潟病院

<履修免除>

他の特定行為研修指定研修機関で受講した e ラーニングの学習内容が、本研修の学習内容に相当するものと認められる場合、共通科目に限り履修免除となることがあります。応募要領をご覧ください。受講料は減額となります。

応募要領

1. 受講資格

以下のすべてを満たしていること

- 1) 日本国内における看護師免許を有すること
- 2) 看護師免許取得後、5年以上の実務経験を有すること
- 3) 所属施設長の推薦を有すること

2. 研修期間 令和8年10月1日（木）～令和9年9月30日（木）

3. 募集定員 5名

コース名	特定行為区分 領域別パッケージ	定員
A	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連＋在宅・慢性期領域パッケージ	5人
B	在宅・慢性期領域パッケージ	

4. 出願期間・試験日・合格発表・手続期間

出願期間（当日必着）	令和8年7月31日（金）～8月7日（金）
試験日	令和8年9月11日（金）
試験科目	論文試験（800字程度の小論文）、面接試験
合格発表	令和8年9月16日（水）
手続期間（当日必着）	令和8年9月16日（水）～9月25日（金）

5. 出願手続

1) 出願書類

- ①受講申請書（指定用紙 様式1）
- ②履歴書（指定用紙 様式2）
- ③志願理由書（指定用紙様式3）
- ④所属施設長の推薦書（指定用紙 様式4）
- ⑤看護師免許の写し（A4サイズ）
- ⑥受験票（指定用紙 様式5 写真1枚：サイズ縦4.5cm×横3.5cm、裏面に氏名記載し貼付）
- ⑧科目免除を申請する場合提出
 - ・既修得科目履修免除申請書（指定用紙、様式6）
 - ・特定行為研修修了証の写し

2) 審査料 20,000円

(1) 納入は、銀行振り込みとします。振込手数料はご依頼人の負担となります。

(2) 志願者本人の氏名で下記の銀行口座に振込をして下さい。

振込先：第四北越銀行 柏崎支店 普通口座 口座番号 1685062

口座名義 独立行政法人国立病院機構新潟病院

口座フリガナ トク、コクリツビョウインキコウ

振込者氏名（志願者氏名）の前に必ずトク）を記入（入力）

〔例〕 トク）カシワザキハナコ

振込の証明となる明細票もしくは受領書を出願書類に同封してください。

4) 出願書類の書き方

(1) 受講申請書：指定用紙（様式1）

①「申請者氏名（ふりがな）」は、本人が署名し押印してください。

(2) 履歴書：指定用紙（様式2）

①年齢は、書類作成日現在で記入してください。

②電話番号は、いつでも連絡がとれる番号をいずれか1つは記入してください。

③一般学歴・専門学歴は、いずれも最終学歴を記入してください。

④職歴は、正式な施設名と診療科、勤務期間を記入してください。

⑤写真は6か月以内に撮影したもの（縦4.5cm×横3.5cm、裏面に氏名記載）を貼付してください。

(3) 志願理由書：指定用紙（様式3）

①「志願理由」は、臨床看護の経験を含めて、具体的に記載してください。

(4) 推薦書：指定用紙（様式4）

①推薦者氏名には、施設長の氏名を記入し、施設長印を押印してください。

②「推薦理由」は、「受講希望者の看護実践能力、研修修了後の期待される役割等」を具体的に記載してください。

③推薦書は「厳封」にて準備してください。開封すると無効になるので、厳封のまま送付してください。

(5) 看護師免許証の写し

①看護師免許（原本）をA4サイズに縮小し複写したものを提出してください。

(6) 受験票：指定用紙（様式5）

①氏名（ふりがな）、生年月日を記入してください。

(7) 写真票：指定用紙（様式5）

①「履歴書」に使用した同じ写真を貼付してください。

②氏名（ふりがな）、生年月日を記入してください。

③募集要項を取り寄せず申請される方は「履歴書」に使用した同じ写真の裏に氏名を記入し同封してください。

(8) 科目免除を申請する場合

①既修得科目履修免除申請書（様式6）

②特定行為研修修了証の写し

(9) 返信用封筒：各自準備

受験票送付封筒に受験者の住所、郵便番号及び氏名を記入し、速達郵便額相当分410（円）の郵便切手を貼ってください。ただし、新潟病院の職員の場合は、切手を貼らずに受験票送付封筒に受験者氏名を記入してください。

5) 出願方法

出願書類を一括して封筒に入れ、書留郵便での郵送又は持参してください。

封筒の表の左側に、「特定行為研修」と朱書きしてください。

6) 注意事項

(1) 試験日の3日前になっても受験票が届かない場合は、下記へお問い合わせください。

独立行政法人国立病院機構新潟病院 特定行為研修センター事務局

電話（代表）0257-22-2126

(2) 一旦納入した審査料及び提出書類は、返還できません。

6. 選考方法

小論文、面接試験の結果及び出願書類を総合し、合否判定基準に基づき判定します。

7. 試験会場及び時間割等

1) 試験会場：独立行政法人国立病院機構新潟病院

2) 時間割

試験科目	試験時間
受付 (30分)	13:00～13:30
オリエンテーション (15分)	13:30～13:45
小論文 (60分)	13:45～14:45
面接オリエンテーション (15分)	14:45～15:00
面接(原則、受験番号の早い順で計画)	15:00～終了まで

3) 試験に持参するもの

①受験票

②筆記用具(鉛筆・シャープペンシルを準備してください)

4) 試験時の注意点

(1)試験中は携帯電話の電源を切って、カバンに入れてください。

(2)試験中は、係員の指示に従ってください。

8. 合格発表

1) 合格発表日：令和8年9月16日(水)

(1)病院ホームページに午前10時に合格者受験番号を掲示します。

(2)同日、合否結果を本人及び推薦者の施設長宛に通知文書を郵送します。

(3)電話での合否の問い合わせには応じられません。

9. その他

提出された書類により得られた個人情報は、受講審査関連のために利用し、その他の目的には一切使用しません。

10. 募集要項の請求等

1) 新潟病院のホームページから、募集要項、出願書類がダウンロードできます。

<http://niigata.hosp.go.jp>

2) 郵送による請求方法は、下のメールアドレスに必要情報を入力し、請求してください。

郵送先「郵便番号、住所、氏名」を正確にお願いします。病院から折り返し郵送いたします。

11. 試験に関する書類の送付先及び問い合わせ先

〒945-8585 新潟県柏崎市赤坂町3-5-2

独立行政法人国立病院機構 新潟病院 特定行為研修センター事務局 受講審査係

*電話(代表)：0257-22-2126

平日の9時30分～15時までにご連絡ください。

*E-mail matsuura.fujiko.yj@mail.hosp.go.jp